



Toyama New Industry Organization

# イノベーション推進センター

産学官の連携とイノベーションの推進による  
富山ならではの新産業の育成・創出

## 5. 産学官連携の推進

### 成長産業分野への取組み

「グリーン(再生可能エネルギー、資源循環等)」、「モビリティ(次世代自動車等)」、「デジタル技術基盤(ロボット等)」の成長産業分野への県内ものづくり関連企業の取組みを進めるため、技術セミナー、少人数での研修や先進地視察等の研究会活動で最新の情報提供や情報交換の場を提供し、ネットワーク形成を図ります。また、サーキュラーエコノミー(特に循環型ものづくり)についても取組みます。



### 企業におけるデジタル化の推進

IoT等、デジタル技術の初期導入に関する相談窓口を設け、総合的な対応を行います。企業での出前講座や指導者派遣を通して、県内企業のデジタル化推進のための課題解決に向けた提案から実証試験までを伴走支援します。

### アルミ産業成長力強化戦略の推進

アルミ産業の振興に向けて、アルミのグリーン化に関する産学官連携研究開発への支援や研究会活動、県内外学生のインターンシップ等の人材育成を行っています。

### ヘルスケア産業育成創出の推進

健康・医療・介護等に係わるヘルスケアに関する研究会を設置し、セミナー開催、コーディネーターによるマッチング活動、ヘルスケア製品開発、展示会出展等の支援をします。



デジタルハブ  
(技術交流ビル1階)

## 6. 新産業・新技術の創出支援

### 産学官オープンイノベーションの推進

グリーン、モビリティ、デジタル技術基盤等の成長産業分野において、産学官グループから研究開発テーマを公募し、新商品・新技術創出に結びつく研究開発を支援します。

#### [重点支援分野]

再生可能エネルギー、水素・アンモニア、蓄電池、カーボンサイクル・マテリアル、資源循環、次世代自動車

	単独企業枠	複数企業枠
助成率	2/3*	
助成期間	最長3箇年度	
助成限度額	500万円/年	1,000万円/年

\*ただし、県内の大学・公設試等との共同研究開発経費は10/10。

#### [重点支援分野以外]

助成率	2/3*	
助成期間	最長2箇年度	
助成限度額	300万円/年	

\*ただし、県内の大学・公設試等との共同研究開発経費は10/10。

### ものづくり研究開発支援 (とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内中小企業者(グループ含む)の新商品・新技術の研究開発等による競争力強化の取り組みに対し助成します。

助成率	1/2
助成期間	最長2箇年度
助成限度額	200万円

\*ただし、工具器具・備品費の助成額は100万円以内。

### 成長型中小企業等研究開発支援

特定ものづくり基盤技術の高度化に資する研究開発について、中小企業等及び地域の大学等との研究機関等が連携して行う取り組みを支援する事業\*に関し事業管理機関として支援します。

\*本事業は経済産業省が実施する事業です。

助成率	(1)中小企業等:2/3以内 (2)大学・公設試等:定額
助成期間	2年度又は3年度
助成限度額	通常枠:単年度あたり4,500万円以下 2年間合計で7,500万円以下 3年間合計で9,750万円以下

## 7. 富山県ものづくり研究開発センター

### 富山県ものづくり研究開発センターの概要

センターは富山県産業技術研究開発センターと新世紀産業機構が共同で運営しています。

10m法の電波暗室、最先端設備等設置スペースであるデジタルものづくりラボ、高機能素材ラボ、CNF製品実証試作ラボ、製品機能・環境負荷評価ラボ、オープンイノベーション・ハブと、研究開発スペースである開発支援棟で構成されています。

#### 最先端設備の開放

- 企業や大学に広く開放します。
- 最先端設備は利用者自らが操作することができます。また基本操作や高度に利用するための技術講習を行います。

#### 研究開発プロジェクトの推進

- 開発支援棟の企業スペースやプロジェクトスペースを活用した研究開発を推進します。
- 異分野融合による技術シーズを創出し、研究開発プロジェクトに繋げる研究会を実施します。

#### 実践的なものづくり人材の育成

- 実践的で高度な知識を有する人材育成のため、長期インターンシップの受け入れや、人材育成講習会を実施します。
- 共同研究方式による企業の若手技術者の育成に取り組みます。

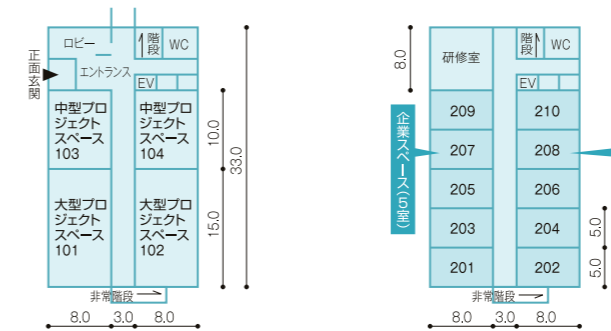
#### 異分野・異業種交流の促進

- 異業種交流セミナーや研究会を開催します。
- 知的所有権センターとの連携により、個別企業の知的財産の一層の活用を図ります。

#### 開発支援棟の研究スペース

カードキーシステムにより入居者は24時間利用できます。

	プロジェクトスペース		企業スペース	
使用料金	80㎡(2室)	月額 184,300円	40㎡(10室)	月額 92,100円
	120㎡(2室)	月額 276,500円		

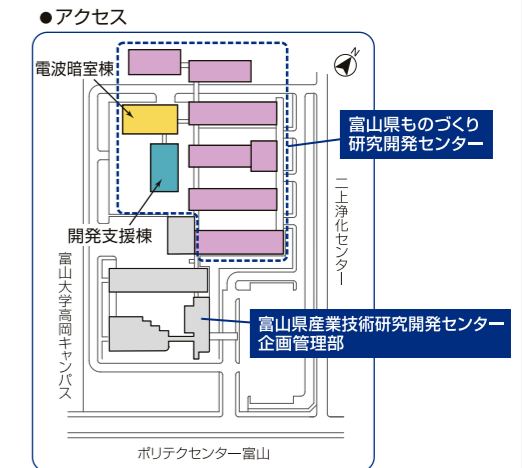


#### 交通アクセス

- 車の場合**
  - 新高岡駅から約20分、高岡駅から約15分
  - 能越自動車道 高岡北インターから約10分
- バスの場合**
  - 新高岡駅前発 加越能バス「城光寺運動公園(富大高岡)」、乗車約30分「富大高岡キャンパス」下車 徒歩3分
  - 高岡駅前発 加越能バス「城光寺運動公園(富大高岡)」、乗車約15分「富大高岡キャンパス」下車 徒歩3分
- 路面電車の場合**
  - 高岡駅発 万葉線、乗車約20分「米島口」下車 徒歩約20分



電波暗室(10m法、小型)／外部からの電磁波の影響を受けず、また、外部機器に影響を与えない電氣的に隔離された部屋。



高岡市二上町122  
(富山県産業技術研究開発センター敷地内)  
TEL.0766-50-8280 FAX.0766-50-8283

## CASE 2

北陸テクノ株式会社 朝井 幸司 社長

- ▶ P.5 ● 農商工連携ファンド事業
- ▶ P.7 ● 戦略的基盤技術高度化支援事業(成長型中小企業等研究開発支援事業)

### もみ殻処理炉を独自に開発 抽出するシリカの利活用も模索

射水市では毎年約6000tのもみ殻が排出され、1t当たり1万円強のコストをかけて産業廃棄物として処理されてきたが、射水市、JAいみず野、北陸テクノが連携してもみ殻の利活用を模索。試行錯誤の末、「焼却プラント内の温度制御がポイントと突き止め」(朝井社長)、平成30年にはJAいみず野のカントリーエレベーター脇にプラントを設置。「農商工連携ファンド事業」の採択を受けて、もみ殻から生成される非晶質シリカの販路開拓に取り組んだ。

そして翌年には、当機構の支援を受けて経済産業省の「戦略的基盤技術高度化支援事業」に応募し、「もみ殻処理炉の高性能化と建築資材用原料の開発」にチャレンジ。シリカの安定的な量産とシリカを混入したジオポリマーコンクリートを住宅の断熱材として利用できないかと研究を重ねた。

その結果、「800度弱の温度で30分燃やし、その後400度で1時間蒸らすと質のよいシリカができることがわかり」(木倉崇専務)、プラントの改良も進めたのだった。



▲農業者のもみ殻やわらの野焼きは例外的に認められているが、煙りや臭いがきつところから実際には少なくなっている。



▲「戦略的基盤技術高度化支援事業」の採択を受けて改良された、同社のもみ殻処理炉。



▶「今後は、シリカの化粧品などへの応用も検討したい」と語る朝井幸司社長。